

全国農業教育新聞

3号

発行所
全国高等学校農場協会

東京都渋谷区
円山町2-20

民の希いは 繁栄の 歴史新たに おこるとき
進む技術の研鑽に 喜び集う 農場協会

第593号 令和2年1月31日
(年4回発行)

今年も夏季休業中に地域色豊かに各支部大会が開催されました。詳しくは、研究集録をご覧ください。

第23回 北海道支部大会

研究主題：「グローバル化や法人化、6次産業化や企業参入等に対応した経営感覚の醸成を図るにはいかにあるべきか」時代の変化や地域の実態に即応した農業経営者育成に向けて」
北海道士幌高等学校
中野 泰弘

「持続可能で多様な環境に対応したグローバル人材育成の充実を図るにはいかにあるべきか」
北海道岩見沢農業高等学校
山口 博文

「科学的な根拠を踏まえた地域資源の活用やヒューマンサービス分野における創造的・実践的な人材育成の充実を図るにはいかにあるべきか」
北海道剣淵高等学校
田呂 雄一

講演

第18回 東北支部大会

第一分科会 「教科指導」について、「『主体的・対話的で深い学び』」に対応した教科指導はどうあるべきか」岩手県立遠野緑峰高等学校 寺長根先生と山形県立置賜農業高等学校 今井先生の取組事例発表。

第二分科会 「農業教育の充実・振興」について、「社会のグローバル化に対応した安全・安心な農業教育及び関係機関等と連携したキャリア教育の推進はどうあるべきか」秋田県立能代西高等学校 渡辺先生と宮城県迫桜高等学校 千葉先生の二校から発表。

第三分科会 「学校農場運営」について、「生徒の実践的・体験的な学習活動を推進するための農場運営はどうあるべきか」青森県立五所川原農林高等学校 越

先生と福島県立修明高等学校 郷先生の発表。各発表後に研究討議。

第68回 関東支部大会

講演 「東京都の取り組み」
講師：東京都教育庁指導部 高等学校教育指導課
指導主事 金子 将之

講演 「ジビエとその活用」
国産ジビエ工利活用に関する概況」講師：一般社団法人日本ジビエ振興協会
理事長 藤木 徳彦

文部科学省初等中等教育局 参事官（高等学校担当） 付 産業教育振興室 教科調査官 鈴木 憲治

農業高校の現状の説明
新学習指導要領の要点説明
① 総則の重要なポイント
② 農業科目構成の変更点
③ 農業科の教科の目標
④ 学習内容の改善・充実
⑤ 学習指導の改善・充実
⑥ 学習評価の改善の基本的な方向性
⑦ 評価の観点
新学習指導要領から評価方法が変わります。よく学習してください。

第43回 北信越支部大会

「経営感覚の醸成を図るための学習指導について」
実践発表 石川県立七尾東雲高等学校 校長 谷 良弘

「地域連携活動を活かした農業教育の取り組みについて」長野県下伊那農業高等学校 小池 眞理子

「生徒募集・進路指導を見据えた活力ある学校づくりと情報発信について」新潟県立新発田農業高等学校 野村 信夫

北陸農政局情勢報告
「食料生産現場の未来を握る3つの鍵」・「スマート農業実証プロジェクト」について 北陸農政局 経営・事業支援部 経営支援課 人材確保支援
企画官 谷口 尚美

講演 「食農と環境/生命をつなぐ・食事訓から農家五訓」講師：福井県立大学 学長 進士 五十八

第20回 近東支部大会

「栽培・飼育および流通系

科目における教育実践について」大阪府立農芸高校

渡辺 慎也

奈良県立山辺高校

安原 直彦

滋賀県立甲南高校

今崎 節子

「食品加工系科目における教育実践について」三重県立伊賀白鳳高校

西島 淳太

岐阜県立恵那農業高校

吉村 和倫

「環境・ヒューマンサービス系科目における教育実践について」愛知県立安城農林高校

山崎 友梨

兵庫県立有馬高校

長光 雅実

京都府立峰山高校

田中 信高

第66回

中国支部大会

「食料供給・ヒューマンサービスにおける新たな時代を切り拓く人材の育成をめざして」島根県立邇摩高等学校

長谷川みづ江

広島県立沼南高等学校

和田 知史

「環境創造素材生産・バイオテクノロジーにおける新たな時代を切り拓く人材の育成をめざして」鳥取県立鳥取湖陵高等学校

佐々尾 隆

岡山県立真庭高等学校久世校地

宮坂 淳司

新たな時代を切り拓く人材の育成をめざして」岡山県立高梁城南高等学校

福成 真英

山口県立宇部西高等学校

山本 素子

講演「全国の高校事例に見るこれからの農業教育の展望」講師 国立大学法人山口大学 大学研究推進機構 知的財産センター

准教授 陳内 秀樹

第50回

四国支部大会

「地域で学び地域と育つ神山校」徳島県立城西高等学校 校神山校 丸山 稔

「地域に根ざした農業教育の実践」香川県立農業経営高等学校 佐藤 広明

「GLOBAL GAP 認証取得から海外販売へ」愛媛県立丹原高等学校

能田 恭至

「県下農業高校への環境制御導入にむけて」高知県立幡多農業高等学校

和田 晃矩

講演「ゆずの食文化を世界へ」講師：馬路村農業協同組合 代表理事組合長

東谷 望史

第65回

九州支部大会

「GAP教育への取組について」鹿児島県立薩摩中央高等学校 廣瀬 将孝

「徹底した衛生管理の上になり立つ食品製造」これまでの研修で学んだこと」大分県立宇佐産業科学高等学校 西田 愛

「私が目指すフードバリューチェーンについて」農業生産法人 有限会社 長田製茶代表取締役 長田 篤史

「継続的かつ安定的な成長を見据えた農業教育の展開」食品科学科での実践」長崎県立諫早農業高等学校 増本 雅也

「専門科目における環境学習の指導法の工夫」本学科における環境学習の取り組みについて」沖縄県立北部農林高等学校 上原 康

「6次産業による地域の活性化について」有限会社おむら夢ファームシユシユ代表取締役 山口 成美

「学科における専門科目の系統的な学びについて」2年次までの学びを課題研究に活かす取り組み」熊本県立熊本農業高等学校 杉本 一弥

「宮崎県北地域の農林業における門川高校の役割と展望について」宮崎県立門川高等学校 林田 正業

「ふるさと納税の活用と地域力の向上」FOCUSBRND GRI 黒瀬 啓介

「生徒募集に関すること」魅力ある学校の創造」生徒・中学校の期待を見える化」福岡県立久留米筑水高等学校 伊藤 一也

「飛翔！MINAMIから風が吹く！」佐賀県立唐津南高等学校 木村 紀元

「長崎県の魅力を発信！」「伝わる」PR手法について」長崎県文化観光国際部観光振興課国内振興班 課長補佐 松尾 由美

「食」「環境」「人」の分野のプロフェッショナルを育成します

- 環境園芸学部 環境園芸学科
人間発達学部 子ども教育学科

- 健康栄養学部 管理栄養学科
食品開発科学科



南九州大学 MINAMI KYUSHU UNIVERSITY

新橋キャンパス: 〒885-0035 宮崎県都城市立野町3764番地 1
宮崎キャンパス: 〒880-0032 宮崎県宮崎市羅島5丁目1-2
お問い合わせ [企画広報課(宮崎キャンパス)]

0120-3739-20

http://www.nankyudai.ac.jp

三研の豚銜機

- 農業
畜産
科学
食品加工機器
畜産機器



Sanken

株式会社三研

〒143-0014 東京都大田区大森中3-36-8
http://www.hi-sanken.com / sanken@hi-sanken.com
FAX.03-6450-0326 TEL.03-6450-0327